



来場者の笑顔が光る 加茂谷鯉まつりは今年で25周年！



深瀬町的那賀川中央橋上流の河川敷で、5月3日、今年で25周年を迎える「阿南の加茂谷鯉まつり」が開催され、家族連れなどたくさんの人が青空の下を泳ぐ約300匹の鯉のぼりを見て楽しみました。

会場内では模擬店のほか、カンドリ舟遊覧やトロッコ車など数々のイベントが催されました。消防コーナーで放水体験をした朝川恵達さん（富岡小2年）は、「ホースは重かったけど、水がよく飛んで面白かったです。」と、憧れの消防車を目の前に満足そうでした。

また、今年初めての試みとして、「午尾の滝」で知られる八幡神社に約50個の五月人形や武者人形が飾られ、まつりを盛り上げていました。

新庁舎建設に向けて安全祈願祭を実施 平成28年7月末の完成めざす



新庁舎の建設予定地である現庁舎敷地内で4月24日、関係者107人が出席して安全祈願祭が行われました。式典に出席した岩浅市長は、「県南の核として十分存在感を持ち続けられるものだと確信しています。」と力強くあいさつし、鍬入れを行いました。

建設する高層部は、地上7階、地下1階建てで、平成26年9月末に完成する予定です。高層部完成後、現庁舎を取り壊し、地上3階、地下1階建ての低層部の建設に取り掛かります。低層部は高層部とつながれ、建物として一体化されます。庁舎全体の完成は、平成28年7月をめざしています。

阿南市で「NHKのど自慢」を開催 20組の出場者が自慢の歌声を披露



阿南市制施行55周年を記念して、5月5日、市民会館で「NHKのど自慢」の公開生放送が行われました。250組が参加した予選会を見事勝ち抜いた20組の皆さんが、青春時代の思い出の曲や亡き妻に捧げる歌などを熱唱。合格の鐘が会場に鳴り響くと、詰めかけた900人の来場者から拍手や歓声があふきました。

本選に出場した高島 優さん（37歳・才見町）の応援に駆けつけた父・幸晴さん（63歳）は、「楽しかったです。息子はかなり練習していました。いい思い出になったのでは。全国に阿南市のPRができてよかったと思います。」と話していました。

ゲストは、大月みやこさん、三山ひろしさんでした。

東京・阿南ふるさと会が会報を創刊 阿南のトピックスや東京在住の人を紹介



昨年9月に発足した「東京・阿南ふるさと会」が、会報を創刊し、東京近郊に在住する約150人の会員や関係行政機関に配布しました。

会報の大きさはA2判四つ折りで、500部を製作。阿南市の特産である「たけのこ」をタイトルとしました。緑色を基調とした会報には、野々宮恵司会長のあいさつをはじめ、編集委員のメッセージや阿南のトピックス、東京近郊で活躍する人やお店などが紹介されています。

阿南と東京を結ぶ「たけのこ」は、春と秋の年2回発行される予定で、阿南市東京事務所ホームページに掲載しているほか、阿南市役所1階案内係に備え付けています。

歴史の道の保存活動への関心高まる 「全国歴史の道会議」開催に向け始動



「第12回全国歴史の道会議徳島県大会」の開催を控え、歴史の道の保存や活用についての関心がにわかに高まっています。

5月9日、阿南市情報文化センターで第1回実行委員会が開催され、日程等が話し合われたほか、15日には、将来のまちづくりを考える「加茂谷元気なまちづくり会」の活動部会「加茂谷へんろ道の会」が結成されました。また、大井町や加茂町の住民によるお接待が行われるなど、地域をあげた取組が進められています。同保存会の会長に就任した横井知昭さん（67歳・水井町）は「みんなでアイデアを出し合いながら、へんろ道のよさをPRしていきたいです。」と意気込みを語っていました。

防災行政無線のデジタル化進む 一部の沿岸部地域で運用開始



平成24年9月に着工した防災行政無線デジタル化工事で、既存のアナログ屋外拡声子局から新設したデジタル屋外拡声子局への切り替え作業が始まり、4月中旬から一部の地域で運用が開始されています。

本工事は、大規模災害に備えて市が約13億3千万円をかけて整備を進めているもので、すでに親局、中継局（2カ所）、再送信局（3カ所）の設置を完了しています。また、旧阿南市地域については、全国瞬時警報システムとの接続に伴い、子局との連動を終えています。屋外拡声子局は市内251カ所に設置することとしており、平成27年2月の完成をめざしています。

なお、当分の間はアナログ無線機を併用します。

新移動図書館車「ひまわり号」運行開始 充実した蔵書にサービスも拡充



新移動図書館車「ひまわり号」の運行が4月16日から始まり、市内を巡回しています。

「ひまわり号」は、旧移動図書館車「わかたけ号（阿南図書館）」と「ブックン（那賀川図書館）」に代わって新たに導入された移動図書館車です。車内には約3,000冊の本が積載されているほか、蔵書検索や本の予約・リクエストができる図書館システムの端末も搭載され、充実した図書館サービスを提供しています。

利用には阿南市立図書館利用者カードが必要で、住所が確認できるものがあれば、その場で作ることもできます。巡回日程は、毎月広報あなん等でお知らせしますので、ぜひご利用ください。

桑野ふるさと研究会が 「ふるさと桑野 文化財・お宝集」を発行



桑野地域で郷土史研究などに取り組む桑野ふるさと研究会の皆さんが、地域の文化や歴史をまとめた「ふるさと桑野文化財・お宝集」を発行しました。

冊子はA4判（94ページ）で、1,000部を製作。桑野地域の地名や神社・寺院、文化財をはじめ、多大な功績を残した人物や地域につたわる民話などが写真とともに紹介されており、まさに地域のお宝本といえます。会長の鎌田 武さん（84歳・桑野町）は、「この一冊には、桑野地域の歴史と文化が凝縮されています。私たちの研究活動の集大成でもあり、次代を担う子どもたちや若者にも大いに活用してほしいです。」と話しています。

◎ 桑野公民館 ☎26-1644）へ